

## 産業建設常任委員会調査報告書

### 1 調査事件

食を生かした誘客事業について

### 2 調査目的

全国的にB級グルメや地域食材を生かした誘客事業が盛んに行われている。庄内町でも米、ラーメンなどの食に関する特徴があり、他にも地域の食文化を発掘する動きがある。これらを、地域活性化、誘客拡大に繋げるために調査することとした。

### 3 調査経過

平成28年12月14日 (会期中)  
平成28年12月20日 (会期中) 聞き取り調査：建設課、商工観光課  
平成29年1月13日 聞き取り調査：商工観光課、農林課  
平成29年1月19日  
平成29年1月30日 視察調査：町湯、北月山荘、道の駅  
平成29年2月8日 聞き取り調査：庄内町商工会、庄内町観光協会  
平成29年2月15日  
平成29年2月22日  
平成29年2月29日  
平成29年4月14日 視察調査：南陽市  
平成29年4月20日 視察調査：秋田県横手市  
平成29年4月28日  
平成29年5月2日 聞き取り調査：商工観光課  
平成29年5月23日  
平成29年5月29日  
平成29年6月2日

### 4 調査状況

#### [現況]

町では、これまで「あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」の開催や、たべぶら事業などで地域の食に関する特徴を町内外にPRしてきた経緯がある。また、新産業創造館の共同利用加工場を活用した6次産業化を推進し、昨年10月には地元農産品の直売、主婦レストランをメインとした「道の駅しょうない 風車市場」もオープンした。

一方、ブランド化への取り組みでは、豊富な地元食材に恵まれているものの、「食の安心・安全なブランドづくりと地域6次産業化推進事業」が平成28年度から始まり、間もないことから、ブランドづくりまで至っていない。

#### (1) 民間事業者との連携

民間事業者と連携して、地元食(米、酒、漬物、しょうゆの実等)を組み合わせ

た食めぐりツアーなどを企画・展開している。

ア 町内の老舗店舗から協力を得て、店舗見学、試食、試飲等を実施し、地元食材のPRを行っている。

イ 小さな旅シリーズでは地元の農産物（からとり芋、枝豆、夏野菜）の収穫、試食体験を実施している。

ウ 毎年恒例となっている「あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテスト」に、「駅からハイキング」の参加者に来場してもらい、美味しい米と、消費者生活団体提供の郷土料理の試食を行っている。

## (2) 拠点施設

ア 郷土料理を発信、提供する拠点として北月山荘、道の駅しょうないを位置づけて積極的なPRを行っている。

(ア) 北月山荘では、地元農産物や山菜に加え、イワナ、ヤマメを提供し、宿泊者などに好評を得ており、楽天トラベルで高い評価を受け、全国的にも知名度が上がりつつある。

特にヤマメの甘露煮や山の芋料理は、都会からのお客様に好まれる調理方法を工夫したことから、リピーターの確保や土産品としても期待される。

(イ) 道の駅しょうないでは、主婦レストラン「いろどり」で庄内の旬な食材をふんだんに使用した料理を提供している。

また、道の駅という性質上、トラックドライバーなどに向けたボリュームのあるメニュー開発に取り組むなど、リピーター確保に努めている。

イ 新産業創造館「クラッセ」では、レストラン「やくけっチャーの」「なんでもバザールあっでば」や共同利用加工場を軸に地元食材の消費拡大、誘客を図っている。

(ア) レストラン「やくけっチャーの」では、イタリアン料理シェフの監修により、イタリアンをメインに、地元産野菜と肉を取り入れた焼肉方式のメニューを中心にしている。

(イ) 「なんでもバザールあっでば」では、地元食材の直売所としての機能と、観光客向けの土産品販売を担っている。

(ウ) 共同利用加工場では、多くの商品が開発されている。その中でも、「むきそば」や「つや姫玄米コーヒー」は販路拡大に結び付いている。

ウ 町湯では、オープン当初から町湯食堂を併設し、食の魅力を生かした誘客に努めており、その後は休憩室の座敷も活用して宴会利用者を取り込むことで来客者の増加を図っている。

割引クーポン雑誌「My Bloom」への掲載が9月で終了したことで、一時的に来客者が減少しているが、徐々に回復傾向にある。

(ア) 町湯食堂では、当初カレーライスをメインとしていたが、ラーメンの要望もあったことからメニューに加えた。そのラーメン導入が功を奏して来客数は伸びている。

(イ) 宴会利用は40人まで可能で、午後6時以降の時間帯で対応している。料理は町湯食堂で用意しており、地元食材を利用した鍋料理も提供している。また、希望に応じて地元業者からの仕出しにも対応しながら、来客者増加を目指して

いる。

(3) イベントでの PR

各種のイベントを通して、地元食材、郷土料理を提供しており、さらには町外でも積極的に PR 活動を実施している。

ア しょうない秋まつりでは、平成 28 年度は 1 万 8 千人が来場しており、その中でも食に関する催しでは、町内の飲食店や団体が、地元食材を使った餅、ラーメン、惣菜、焼き魚などを提供し、好評を得ている。

イ 平成 28 年度に初めて実施した月山龍神マラソンでは、郷土料理や、新米のおにぎりを提供するなど、町内はもとより町外からの参加者にも好評であった。

ウ 町外では、友好町である宮城県南三陸町での産業フェア、首都圏での物産展などに積極的に参加、出店し、地元食材や郷土料理の PR 活動を行っている。

(ア) 2016 南三陸町産業フェア

期 日：平成 28 年 10 月 30 日(日)

会 場：宮城県南三陸町「ベイサイドアリーナ」

出展者：風車市場、庄内町観光協会

(イ) 白金プラザ七夕まつり

期 日：平成 28 年 7 月 2 日(土)～7 月 3 日(日)

会 場：東京都港区白金プラザ

出展者：(株)イグゼあまるめ、風車市場、人輝芽生(ときめき)ファーム、  
新産業創造協議会

(ウ) 商店街と地方都市との交流物産展

期 日：平成 28 年 10 月 27 日(木)～10 月 28 日(金)

会 場：東京都港区 JR 新橋駅前 SL 広場

出展者：JA 庄内たがわ、(株)イグゼあまるめ

(エ) 山形日和推進事業「食の都庄内！産直列車」

JR 羽越本線「きらきらうえつ」で、庄内地域の特産品等の車内販売および庄内町の観光 PR を(株)イグゼあまるめが行い、知名度向上に努めている。

(4) たべぶらパスポート事業

たべぶらパスポート事業は、平成 28 年度で 5 年目を迎えており、当初は庄内町商工会への委託事業となっていたが、現在は町の補助事業に移行している。なお、各年度の事業概要は表 1 のとおりとなっている。

ア 毎年、60 軒以上の飲食関連事業所、店舗が加入しており、いわゆる B 級グルメの発掘などに一役を担っている。

イ 庄内町はラーメンが有名で、たべぶらパスポート事業の軸となり、賑わいを見せているが、ラーメン以外を提供する店舗でも来客数が増加するなど、飲食業界全体に波及効果が見られる。

ウ たべぶらパスポート事業については、5 年目の取り組みという事もあり、町民はもとより、他市町の利用者にも定着している。

パスポートは町内飲食店関連のガイドブックとしての役割もあり、スタンプラリーの利用をしない人でも携帯していることから、参加店の満足度が高く、掲載され

ることによる広告効果も認められている。

表1 たべぶら事業の概要

		平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
		62 店舗 (内飲食店 57 店)	65 店舗 (内飲食店 59 店)	73 店舗 (内飲食店 67 店)	72 店舗 (内飲食店 67 店)	69 店舗 (内飲食店 63 店)
パ ス ポ ー ト	タイプ	A6 縦型 51P	A6 縦型 88P	A6 縦型 100P	A6 横型 100P	A6 縦型 84P
	部数	3 万部	3 万部	2 万 5 千部	2 万部	2 万部
	配布 方法	町内全戸配布 (6,896 世帯)	町内全戸配布 (6,896 世帯)	町内全戸配布 (6,896 世帯)	町内全戸配布 (6,896 世帯)	全戸配布なし
		庄内小僧折込 公共施設、参加店他	庄内小僧折込 公共施設、参加店他	公共施設 参加店他	公共施設 参加店他	公共施設 参加店他
広 報	のぼり、庄内小僧折込 ラジオ CM 等	のぼり、庄内小僧折込 ラーメン祭り	のぼり、庄内小僧折込 秋祭り	のぼり、掲示物等	のぼり、町内回覧 用チラシ	
賞品内容	一店逸品 37 種類	たべぶら参加店、 一店逸品 95 種類	一店逸品、 たべぶら参加店、 ゆりカード 98 種類	オリジナルグッズ、 町湯入浴券、 ゆりカード 4 種類	参加店共通割引券 ゆりカード 4 種類	

(5) 南陽市役所ラーメン課 R&R プロジェクト

ア 立ち上げの経緯

(ア) きっかけなど

- a 南陽市役所ラーメン課 R&R プロジェクト(以下「プロジェクト」)は、平成 26 年に市が総合戦略策定の過程で実施した中高生アンケート調査で「南陽市の強みとして市外に住む方に伝えたい魅力は何か」の上位にラーメンが挙げられたことをきっかけとしている。
- b 市みらい戦略課では、産学官金連携による地方創生事業の一つと位置付け、プロジェクトは、一般公募、東北芸術工科大学学生、市職員からなるプロジェクト課員が互いに連携して、南陽市のラーメンを PR することを手法としながら、新たな協働のまちづくりを行い、交流人口の拡大を目指すものとしている。
- c 立ち上げまでの間は、市内ラーメン店の把握と赤湯麺業組合、東北芸術工科大学などへの説明や協力依頼を行っている。

(イ) 組織、名称など

- a プロジェクトの「ラーメン課」は、市課設置条例による課ではなく、市みらい戦略課の所掌事務としてのプロジェクト名で、ラーメン課長は市みらい戦略課企画調整係長が担っている。
- b プロジェクト課員は、ボランティアとし、市内・市内の有志はもとより、全国から募集することとし、会議等に直接参加が困難な方であっても、ファンクラブとしての課員登録も可能としている。目標は 100 万人としている。
- c プロジェクト名にある「R&R」はラーメン (Ramen) の「R」と、Revolution (レ

ポリューション：大変革、激変、革命等の意)の「R」で、直訳すると“ラーメン” & “革命”となるが、ラーメンに革命を起こすのではなく、“大きくそれまでのスタイルを変えること”に思いを込めた命名としている。

(ウ) 東北芸術工科大学との連携

地方創生の産学官金連携の一つである「学」としての東北芸術工科大学との連携は、同大学の赤沼准教授と市の高梨みらい戦略課長が先輩後輩という人脈が大きく作用して成ったものである。

同大学生のプロジェクト会員は10人で、主に、ラーメンマップの作成を担い、同マップ掲載希望ラーメン店への取材活動を行っている。なお、同マップは、東北芸術工科大学生の技能を生かした手描きのイラストで味わい深いものになっている。

(エ) 南陽市のラーメン

「南陽ラーメン」のネーミングは存在しないし、他で見られる一定条件を満たした「〇〇ラーメン」として統一することは、今のところ考えていない。あくまでも、参加店の伝統(ほぼ全店が自家製麺)などに任せる方向である。ただし、全国発信は「南陽市のラーメン」で行うとしている。

イ 活動内容

(ア) 平成28年度の主な実施活動

a ラーメン課員の募集 期限なしの常時受け付け

平成29年3月末現在の会員数65人

内 訳 職員20人 一般45人(うち、東北芸術工科大学生10人)

住所別 県内56人(市内43人(東北芸術工科大学生を含む)、村山地区8人、置賜地区4人、庄内地区(酒田市)1人)

県外9人

b プロジェクトキックオフ(発会式)

平成28年7月2日(土)南陽市文化会館においてラーメン課員のほか市長をはじめ関係者約60人が参加し、ラーメン課看板除幕式、辞令交付式などを行い、プロジェクトがスタートした。この模様は、ラーメン課の名前に注目して取材に訪れた、多数のマスコミ各社により、全国的に発信され、予想をはるかに超えるPR効果があったとしている。

c ラーメンマップ作成

事前調査で、ラーメンマップ掲載を希望したラーメン店への取材を行い、平成29年1月まで、21店の取材を終えたが、日程の調整が難しく、13店が未実施となり、マップ完成は平成29年度にずれ込んでいる。

d SNSの活用による情報発信

現在4つのツール(フェイスブック、ツイッター、インスタグラム※1、ホームページ)での情報発信を行っている。なお、ラーメン課員が情報発信する際は、情報を集約するため、投稿の際は、ハッシュタグ※2(#南陽市のラーメン)を付けていただくことにしている。「ラーメンと言えば南陽」と言っていただけよう全国発信に努めている。

平成 29 年 3 月末の情報件数は、ツイッター(インプレッション数※3) 242, 558 件、フェイスブック(リーチ数※4) 144, 343 件となっている。

※1 インスタグラム 写真投稿サイト

※2 ハッシュタグ ツイッター用語の # 記号のことで、一覧検索するための記号。

※3 インプレッション数 インターネット広告が表示(露出)されること。広告表示回数。

※4 リーチ数 フェイスブックの投稿が閲覧された回数

e ラーメン大使委嘱

広く全国、世界に向けて「南陽市のラーメン」を発信し、知名度のアップ、ラーメン課員獲得、そして入込客数の増加を図るため、著名人の味方、ファンが必要不可欠であるところから、市長を先頭にあらゆる機会を捉え、ロコミ戦術を展開し、大使を委嘱している。大使には名刺の配布のみで協力をいただいている。

平成 29 年 3 月末までに委嘱したラーメン大使は、次の 5 人となっている。樋渡啓祐(前佐賀県武雄市長)・廖政豪(リャオ・ハンセン:山形県つや姫大使)・森岡泰裕(国交省下水道部長)・パンチ佐藤(元プロ野球選手、タレント)・平塚千瑛(米沢出身、タレント、モデル)

f 事業費

平成 28 年度の事業費は、6 月議会で 150 万円の補正予算が認められ、発会式、交通費、謝礼等に充てられている。

(イ) 平成 29 年度の主な活動予定

会議や打ち合わせ等を除いて、ラーメンマップの完成配布、ラーメンカード・スタンプラリー等の実施、ラーメンフォトコンテストの開催など予定し、事業費は、平成 29 年度推進事業費総額 300 万円を計上している。

ウ 課題

このプロジェクトは、本格的な活動が始まったばかりで、事業検証もまだなく、その効果を測定するまでに至っていない。しかし、担当者は「当初、説明訪問時には歓迎ムードでなかったが、話題になってからは、お茶が出て、和やかなムードになったところもあり、来客増に結びついているなど感じた」と、述べている。

立ち寄ったラーメン屋の店主は「いいことだ」と、述べている。一方、赤湯駅前のタクシードライバーは「お客から聞かれたこともないし、変化は感じられない。取り組むことは悪いことではない」と、述べている。

全国初となる「ラーメン課」の話題性は高く、地元紙はもちろん全国紙やスポーツ新聞でも取り上げられ、また、パソコンの Yahoo サイトでも多数検索され、南陽市の知名度アップに大きく貢献していることは間違いない。市役所陸上部の東日本実業団対抗駅伝やニューイヤー駅伝(全日本実業団対抗駅伝)出場での知名度アップとの相乗効果も期待される。この点では大成功といえる。

ラーメン店に限定しての誘客数の把握は困難であり、温泉などの宿泊数、桜まつりや菊まつり等の各種イベントの来客数、赤湯駅乗降客、観光果樹園やその他

の観光施設などの客数から総合的に判断し、ラーメン効果を推定することになると担当課では見ている。

(6) 横手やきそば（秋田県横手市）

ア 横手やきそばの誕生

昭和 28 年に鉄板を使った新しいメニューがきっかけで、横手やきそばの最大の特徴である「茹でめん」を完成させ誕生した。昭和 40 年代には約 100 店舗が立ち並んだが、食品衛生法の改正などにより、徐々に減少し、現在では暖簾会正会員（横手市内）は約 40 店舗となっている。

イ 横手やきそば暖簾会

横手やきそばを提供する市内の飲食店と、横手やきそば麺を製造する業者とで構成された組織である。主な活動としては、横手やきそばガイドマップの作成・配布に始まり、観光客への PR、全国各地でのイベント出展やポイントカード事業、スタンプラリーの実施、横手やきそば四天王決定戦への参加協力、また、横手やきそばサンライ’ S の一員として、毎年「B-1 グランプリ」へ参加している。

また、横手やきそばのブランドを高めるために、横手やきそば暖簾会は、共同組合化を実現し、平成 21 年 7 月 7 日に特許庁に地域団体商標の出願を申請し、平成 24 年 12 月 28 日商標登録された。このことで、本来の「横手やきそば」と、かけ離れた商品を横手やきそばと呼ぶケースを抑止することができた。

ウ 横手市観光おもてなし課観光振興係

現在、横手市観光おもてなし課観光振興係では、横手やきそば暖簾会と横手やきそばサンライ’ S の事務局を担っており、横手やきそばを通して全市民と一体となり運営に関わっている。

ホームページ上に紹介してから今日に至るまでの予算措置としては、事業にかかる経費の大小により加算する形をとっており、通常は、出張旅費、消耗品等の予算計上となっている。最近では、平成 28 年度に B-1 グランプリのスペシャル大会が実施されたため、約 400 万円の予算計上であった。平成 29 年度は、大きな大会はないが、約 300 万円となり、パンフレットの作成、印刷代を含む予算計上となった。

エ 横手やきそばに着目した経緯

横手やきそばで「まちおこし」ができないだろうかということで、市民団体が発足し店舗組織が立ち上がることとなる。最初は「やきそばで、まちおこしなんて」と、消極的な意見もあったが、団体・組織の熱意により、平成 12 年から「横手やきそばプロジェクト推進本部」という、横手やきそばを PR する部署が横手市役所に設置された。予算がなかったため、当時の担当職員は、自ら市内のやきそば店を食べ歩き、約 3 か月かけて市内のやきそば店のデータをまとめた。平成 12 年 10 月、横手市観光協会のホームページ上に「やきそばの街横手」という横手やきそば紹介ページを作成、横手市の特産品として情報提供を始めた。

これをきっかけに、マスコミ等にも広く情報を提供し、パンフレット・リーフレットを作成することで、少しずつ横手やきそばの知名度は向上してきた。また、同じ志を持つ全国の仲間たちと交流しながら一歩ずつまちおこしを進めてきた。

#### オ 第4回 B-1 グランプリ in 横手の開催

平成21年9月19～20日の日程で26の出展団体があり、来場者数が26万7000人となった。横手やきそばが見事 B-1 ゴールドグランプリを勝ち取り、横手のまちの人たちの意識を変えた大会となった。

##### (ア) B-1 グランプリ in 横手の成果

過去に連携したことの無い分野の人たちの結び付きが必然的に発生し、ボランティア、スタッフが一丸となり1,400人がつながることが出来た。また、来場者からはホスピタリティの面で高い評価を受け横手市の印象がアップされ、全国規模のマスコミ報道や番組で一躍横手の街は全国区となった。さらには、ゴールドグランプリ受賞により、週末を中心に県外ナンバーの車が多数横手に来るようになった。そして、イベントだけで13億円の経済効果があり、その後の1年間で約34億円という経済効果をもたらした(資料1)。また、横手市を訪れる観光客の推移(資料2)についても、横手市で行われた B-1 グランプリ大会がピーク(405万人)で、その後少しの減少は見られたが、現在は回復傾向にある。

その他にも、横手やきそばをモデルに、秋田県内でも「食でまちおこし」という地域に弾みができ、秋田県「食」のネットワーク協会が発足した。横手がリーダーになり研修会や各種イベント開催のノウハウを伝え、今までになかった地域間連携も育ち始め、オール秋田でPRする力となった。

##### (イ) 横手市民の変化

知名度が高くなるにつれ、横手市民から「横手やきそばを応援しよう」「横手やきそばがあり誇れるものができた」「横手やきそばで街に人があふれるようになった」などの声がよせられている。また、ボランティアで参加した学生(市外出身者)が、ゴールデンウィークや正月に多数の友人と横手市に横手やきそばを食べに来ており、横手ファンの増加につながった。

さらに、タクシー協議会の協力による「横手やきそばタクシー」や横手やきそばを歌で応援してくれる「横手やきそばバンド」が発足したり、地元農家とタイアップし地場産小麦を使用した「横手やきそば」を作りたいとチャレンジしたり、地元小学校の学校農園で横手やきそば用キャベツの栽培や地元小学校による福神漬け作りが展開されている。

##### (ウ) 「横手やきそばサンライ’ S」の発足と成果

先に述べたように市民の変化が著しくなるにつれ、いろいろな団体からの応援をいただくことにもつながった。その結果、横手やきそばバンド、サポーター、協同組合横手やきそば暖簾会、NPO法人Yokotter、横手やきそば研究所、横手やきそば職人の会が構成団体、横手市役所、横手商工会議所、よこて市商工会、横手市観光協会が協力団体となり、民間、商店、行政の三位一体の全横手市民が活動する組織が出来上がった。これが、「横手やきそばサンライ’ S」という名称になった。

この「横手やきそばサンライ’ S」の発足により、多くの市民が活動に参加することとなり、「まちおこし」に対する市民の考え方がより積極的になって



きた。「元気な地域はみんなの手で」というスローガンで焼きそば用の小麦、キャベツの生産、福神漬けの加工に取り組むようになった。

特に小麦については、地元の農事組合より協力依頼を受け、地元産小麦にこだわった横手やきそば用小麦「南部小麦」と称して作付が始まった。平成 23 年の作付面積は 50a だったが平成 26 年には 4ha（8 倍）まで大きく拡大している。

キャベツについては、「横手やきそば」という食を通じて、キャベツが収穫されるまで、地元農家と交流しながら、地域全体の取り組みとして実施してきた。平成 24 年度から、市内一部の小学校でキャベツ苗を植え付け、秋に収穫したキャベツを使用して横手やきそば大試食会を開催している。

福神漬けについても、キャベツに続き、加工に取り組むようになった。児童の皆さんにも「まちおこし活動の一員」になってもらい、漬物メーカーの協力を得ながら横手市特産の「いぶりがっこ」が入ったオリジナル福神漬けが完成し、横手やきそばの宣伝の一翼を担っている。

平成 28 年度の「横手やきそばサンライ’ S」の活動実績とイベント等の実績（資料 3）を見てみると、1 月 5 日の横手市賀詞交歓会における PR を皮切りに、12 月 30 日の B-1 グランプリスペシャル地域自慢発送作業を最後の事業として、全部で 104 の活動とイベントが実施されている。

#### カ 今後の課題と展望

横手やきそばを横手市観光協会のホームページ内で「やきそばのまち横手」として情報発信してから約 17 年が経過し、多くの横手市民を巻き込み、いろいろな事業やイベントを実施し、大きな成果を上げてきた。しかし、交流人口は現在回復傾向にあるもののピーク時には達していない。従って、地域に今一度「横手やきそば」を通じた地域づくりの考え方や手法等を理解していただき、市民の皆さんに根付かせ、定着させることを仕向けて行くことが必要である。

また、現在行われている「横手やきそば」というブランド名を活用して、「市内の観光資源」と結び付けて情報発信し、多くの方々から観光に来ていただくよう努めている。そのひとつとして、「出前かまくら」と「横手やきそば」を組み合わせ、横手市あるいは依頼先のまちの魅力を最大限に発信し、現地に観光として訪れていただく事業を開始した。この「出前かまくら」事業は依頼があれば、どこでも伺うことになっており、雪がなければ、雪を運んでかまくらを実際に製作する事業である。これまでに 100 件以上の実績があり、香港、韓国、福岡等の遠いところからの依頼があった。この横手市の「出前かまくら」を核にして当市の物産、郷土料理、ご当地グルメの提供など、文化を丸ごと体験していただけるようになっている。今後、この事業の魅力を最大限に発揮し、今まで以上に力を入れ情報発信していくとしている。

#### [課題]

##### (1) ブランド化について

食を生かしたイベントや、商工会を中心とした事業が行われているものの、「食

の安心・安全のブランドづくりと地域6次産業化推進事業」が始まって間もないことから、地域ブランドの創設、定着には結びついていない。

ア ふるさと納税の返礼品で米（はえぬき、つや姫）が一番人気になっているが庄内町産ですべてが賄われていない。

また、観光ポスターには「日本一おいしいお米のふるさと」というキャッチフレーズがあるがブランド化されていない。

イ 地域の郷土料理や特産品は多いが、庄内町特有のブランドが認知されていない。

ウ 南陽市や秋田県横手市では行政と民間が協働で、ラーメン、やきそばを誘客に生かしている。誘客プロジェクトには行政の関わり、コーディネート力が不可欠であり、町ではその仕組みが出来ていない。

## (2) 情報発信について

行政をはじめ、各種団体や企業がさまざまなPRを行い、誘客に向けた努力をしているが十分とは言えず、情報発信力の向上が求められている。

ア フェイスブックをはじめ、SNS（ソーシャルネットワークサービス）、ホームページやメールマガジンを配信しているが、利用者、読者が多い状況にはなっていない。

イ 庄内小僧、My Bloomといった地元誌に情報を掲載しているが、期間が終了した後に利用者が減少する傾向があるため、事後のPRに課題を残している。

ウ 観光施設として、クラッセ、町湯、道の駅しょうないなど新しい施設が続々と出来たが、それぞれが単独での情報発信になっている。町が設置した施設として、連携した相乗効果が発揮されていない。

## [意見]

### (1) ブランド化について

ア 亀の尾発祥の地としての優位性を生かし「あなたが選ぶ日本一おいしい米コンテンツ」の内容を見直して、庄内町産の知名度の向上を図るべきである。

また、ふるさと納税の返礼品で人気の高い米は、すべて庄内町産で賄うべきである。

イ 庄内町のブランドを特定するために、南陽市や秋田県横手市のようにアンケート調査をすべきである。

また、結果をもとに、全町的な広がりを見せるような施策に取り組むべきである。

ウ 食を生かした誘客を目的とした担当係を設置し、情報の一元化を図り先進地などで情報収集すべきである。収集した情報を生かし、専門家を招聘し、庄内町のブランドを生かした誘客事業を展開すべきである。

### (2) 情報発信について

ア 町でフェイスブックやメールマガジンで情報発信しているが、フォロワー※5、読者が少ないので、職員からも協力を得て、町民も積極的に情報の拡散が出来るよう努めるべきである。

※5 フォロワー 一定の投稿を閲覧している人。

イ 地元誌への情報提供やたべぶらパスポート事業は、誘客に非常に効果がある。財

政的理由で事業縮小にならないように、支援を拡大すべきである。

ウ 町が設置した観光施設においては、連携した情報発信を行い、相乗効果を図るべきである。各施設の特徴を生かしたイベント開催では、連携して誘客に努めるべきである。

# B-1グランプリin横手の経済効果



**第4回B-1グランプリin横手開催の経済効果は  
およそ13億円**

**【試算結果】**

1. 9月19日から21日まで開催されたB-1グランプリin横手 (A-1、C-1含む) 最終消費額を試算したところ、13億円と推計されます。

(試算方法)

- ① B-1グランプリ来場者から当日行なったアンケート調査 (10月20日現在集計サンプル数1500) に基づいて、来場者人数 (224,950人) を算出した。
- ② アンケート調査とH20秋田県観光統計調査数値を利用し、来場者実人数を県外、県内、市内に分け、それぞれ宿泊と日帰り客数を算出した。
- ③ H20秋田県観光統計で算出されている横手市への観光客の観光消費支出額を乗じ、実行委員会予算を足して最終消費額とした。

旅行の種類	人数 (A) 単位: 人	消費支出額 (B) 単位: 円	消費額 (A) × (B) 単位: 円
県内より宿泊	210	15,188	3,189,480
県外より宿泊	3,920	34,108	133,703,360
県内より日帰り	78,940	3,750	296,025,000
県外より日帰り	99,370	7,324	727,785,880
市内より日帰り	42,510	2,000	85,020,000
	224,950		1,245,723,720

観光客消費額 12億4500万円

+ 実行委員会予算支出額5500万円 = 13億円

※観光消費支出額には、交通費、宿泊費、飲食費、土産、買い物費等が含まれます。



**ゴールドグランプリ受賞後、8カ月間の経済効果は  
およそ34億円**

**【試算結果】**

2. B-1グランプリで横手やきそばがゴールドグランプリを受賞した直後から、現在 (2010/5/24) に至るまでの経済効果を34億円と推計されます。

(試算)

- ① 週末の製麺会社への注文数は、1日2.7万食。平日の注文数は、1日1.1万食。1週間で約10.9万食。B-1グランプリ以後は×35週で、382万食が全国で食べられていることに。平均単価は500円程度なので=およそ2億円の消費。
- ② 週末、平日の観光客数は、前年対比約12%の伸び。約30億円の経済効果。
- ③ 横手やきそば関連商品の販売数は、約2億円。(ロイヤリティ収入より逆算)

合計 34億円

(参考)

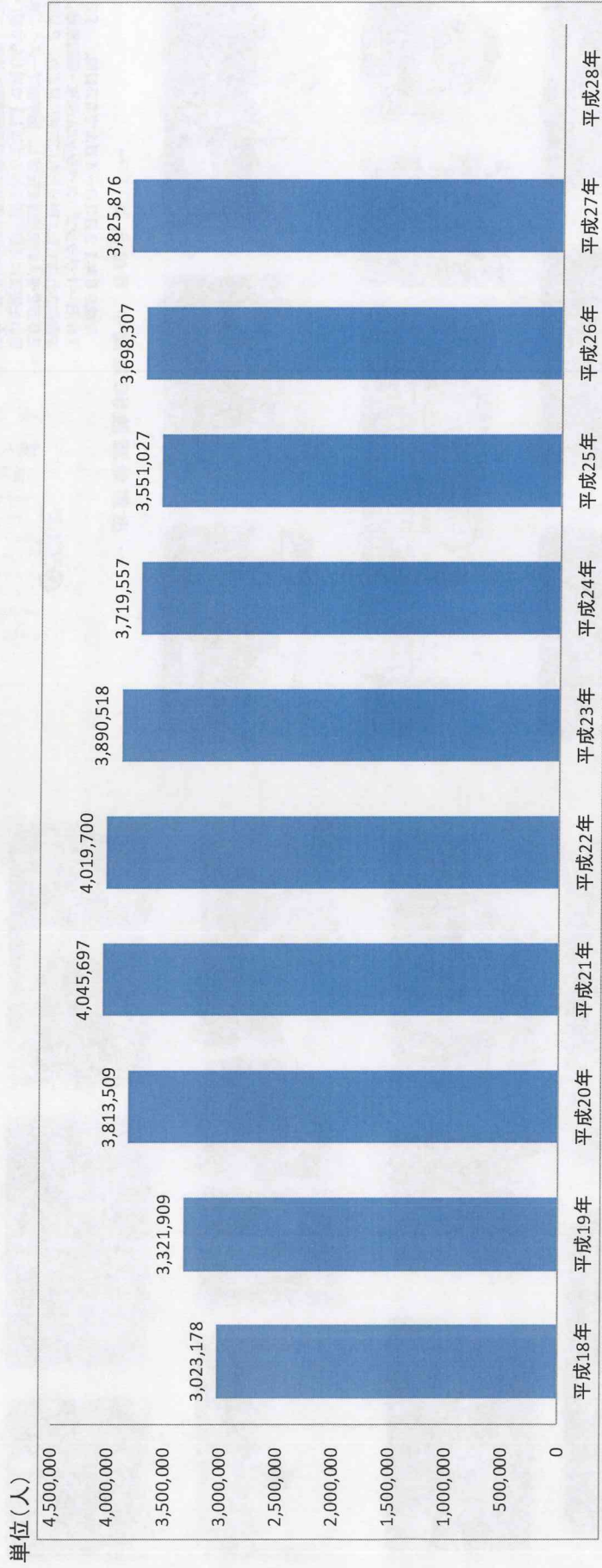
- ① 週末土日の注文数、平日の注文数を市内の製麺会社にそれぞれ聞き取り調査。この中には、県内外の物産展、イベントの出展オファーが含まれている。
- ② 平日1日あたりの観光客の消費額は横手市全体で2,800万円。週末は1日あたり2億8,600万円。1週間当たり7億1,200万円 (2,800万円×5日+2億8,600万円×2日)。B-1グランプリ以後、×35週で249億2,000万円。これは前年対比約12%の伸びと推計。249億2,000万円×0.12=29億9,000万円
- ③ B-1以後、横手やきそばの関連商品のロイヤリティ収入は、7カ月で約350万円。逆算すると、関連商品の販売金額は、約2億円。

※今回推計した金額には、マスコミ等による誌面掲載やテレビ放送についての広告費換算が含まれていません。これも含めると、効果額の更なる増加は確実です。



# 元気な地域は、みんなの手で！

## 横手市の観光客数の推移（1月～12月）



## 平成28年 イベント等一覧表

## 横手やきそばサンライ'S

NO	日付	イベント名	場所	備考
1	1/5	横手市賀詞交歓会におけるPR	横手市内	
2	1/9~11	こでられね〜秋田大集合	神奈川県横浜市・八景島シーパラダイス	
3	1/16~17	釜石冬の味覚まつり	岩手県釜石市	北東北連携軸 ポポロ
4	1/23~24	出前かまくらin加古川	兵庫県加古川市	
5	1/23	横手やきそば体験（宮城県浅水）	横手市こうじ庵	横手市との交流事業
6	1/21	総合学習（南小学校）	横手市内	まちおこし・伝統行事
7	1/27	総合学習（南小学校）	横手市内	まちおこし・伝統行事
8	2/5	室根でのPR活動（出前かまくら）	岩手県一関市	
9	2/6~7	ひるぜん雪恋まつり	岡山県真庭市蒜山	
10	2/10	バイキング給食	山内小学校	
11	2/13	愛Bリーグ北海・東北支部総会	山形県山形市	
12	2/14	十和田バラ焼きゼミナール 情報交換会	横手市内	
13	2/14~17	総合学習で作成された手作りパンフの配布	横手市内	雪まつりにて
14	2/23	FOOD PRO秋田代表者会議	秋田県秋田市	
15	2/28	雪よせ世界大会2016inよこて	横手市内	
16	3/7	横手やきそばサンライ'S理事会	横手市内	
17	3/17	全日本男子バレーボール日本代表合宿歓迎レセプション	松與会館	
18	3/22	北海道と東北の観光促進シンポジウム	横手市内	東北100選に認定
19	3/23	横手市への寄付	横手市内	
20	3/29	横手やきそば大感謝祭with横手やきそば塾	横手市内	
21	4/5	横手やきそば道場（岩手山SA）	横手市こうじ庵	
22	4/9~10	上野発！！がんばろう東北！！東北応援キャンペーン	東京都上野駅	おやつ屋さん
23	4/21	台湾大同大学生横手やきそば体験	横手市内	
24	4/23	愛Bリーグ北海・東北支部総会	岩手県一関市	
25	4/23~24	八重桜まつり	茨城県那珂市	友好都市 石谷製麺
26	4/25	横手やきそばサンライ'S理事会	横手市内	
27	5月~9月	平成高校での授業	横手市内	
28	5/20	FOOD PRO秋田代表者会議	大仙市	
29	5/21~22	横手カップバスケットボール大会	雄物川体育館駐車場	
30	5/21~22	ABSまつり	秋田市 エリアなかいち	
31	5/25	チャレンジデーでの清掃活動	横手市内	
32	5/26	研修会（おもてなし・衛生管理）	横手市内	
33	5/29	あきた県民住まい祭 JOY-FULL	秋田市 秋田テルサ	
34	6/3	第68回秋田県病院給食協議会	横手セントラルホテル	

NO	日付	イベント名	場 所	備考
35	6/3~4	これが秋田だ！食と芸能大祭典	秋田市 エリアなかいち	
36	6/8	教育長との打合せ	横手市内	
37	6/11	浪江焼麺太国 情報交換会	横手市内	
38	6/20~21	まちおこし活動に係る小学校との打合せ	横手市内	平鹿地域
39	6/27~28	まちおこし活動に係る小学校との打合せ	横手市内	山内・平鹿地域
40	7/2	国際教養大学との連携事業	横手市内	
41	7/5	総合学習・キャベツの植え付け	横手市内	横手北小学校
42	7/5	秋田県農業士交流研究会	横手市内	
43	7/11	ひるぜん焼そば好いとん会による勉強会	横手市内	
44	7/12	行政視察対応	横手市内	埼玉県越谷市議会
45	7/11.7/25/.8/1	サンライ' s 盆踊り練習会	Y2 ぶらざ オープンスペース	
46	7/13	横手やきそばサンライ'S関係者会議	横手市内	
47	7/17	国際教養大学オープンキャンパスとの連携事業	秋田市内	
48	7/23	全国線香花火大会	横手市蛇の崎川原	
49	7/23~24	職業体験総合学習フェア・仕事の王国	秋田ふるさと村	
50	7/26	横手やきそばサンライ'S理事会	横手市内	
51	7/27	愛Bリーグ北海道・東北支部説明会	岩手県岩手町	
52	7/30	ツインクリニック夏祭り	ツインクリニック前	
53	7/31	真夏の千客萬遍市秋田まるごと当地グルメ祭	本荘公園 (由利本荘市役所隣)	魯句彩亭
54	8/3-8/6	秋田竿灯まつり	秋田市竿灯大通り	
55	8/8	大学野球部への横手やきそば提供	横手市内	(神奈川大学)
56	8/15	サンライ' s 盆踊り参加	横手市内	
57	8/19	大学野球部への横手やきそば提供	横手市内	(日本体育大学①)
58	8/24	大学野球部への横手やきそば提供	横手市内	(日本体育大学①)
59	8/26	総合学習・キャベツの植え付け	横手市内	旭小学校
60	8/26~27	大曲花火ウィーク ご当地グルメ王国秋田	大仙市丸子橋周辺	
61	8/26~27	愛Bリーグ本部関係者との情報交換会	横手市内	
62	8/26	なかひまわりフェスタ	茨城県那珂市	友好都市 賛助会員 おやつ屋さん
63	8/30	総合学習・キャベツの収穫	横手市内	横手北小学校
64	9/1	横手やきそばサンライ'S理事会	横手市内	
65	9/3~4	横手やきそば四天王決定戦	秋田ふるさと村	
66	9/5-9/6	横手やきそば四天王決定戦ステージPR	秋田ふるさと村	
67	9/3~4	ご当地キャラハロウィンパーティーinゆに2016	北海道夕張郡由仁町伏見134-2	愛Bリーグ公認
68	9/3~4	秋田ふるさとミュージックキャラバン	横手市内	
69	9/6	総合学習・福神漬けづくり①	横手市内	浅舞小学校
70	9/8	十文字中学校総合学習	横手市内	
71	9/10	愛Bリーグフォーラム	千葉県勝浦市	

NO	日付	イベント名	場所	備考
72	9/11	金澤八幡宮祭典協賛 後三年 秋の陣in金澤	横手市内	
73	9/6	総合学習・福神漬けづくり①	横手市内	吉田小学校
74	9/6	総合学習・福神漬けづくり①	横手市内	醍醐小学校
75	9/17	浦安フェスティバル	大森体育館	
76	9/17-18	横手やきそば杯ハンドボール大会	横手体育館	
77	9/17-18	浦安フェスティバル	千葉県浦安市明海大	賛助会員 おやつ屋さん
78	9/24-25	東海北陸B-1グランプリin坂井	福井県坂井市	
79	9/24	YOKOTE Dream Cup	十文字陸上競技場	
80	9/25	横手市ラージボール卓球大会	横手体育館	
81	9/25	マスターズ野球大会	横手体育館	
82	10/1~2	秋田25市町村対抗駅伝 ふるさとあきたラン!	大館市	
83	10/1~2	秋田25市町村対抗駅伝 ふるさとあきたラン!におけるPR活動	大館市	
84	10/4	総合学習・福神漬けづくり②	横手市内	浅舞小学校
85	10/6	健康寿命延伸都市フォーラム2016	横手セントラルホテル	
86	10/9	横手市ハーフマラソン	横手市内	
87	10/12	行政視察対応	横手市内	青森県三戸町
88	10/14	総合学習・福神漬けづくり②	横手市内	吉田小学校
89	10/17	総合学習・福神漬けづくり②	横手市内	醍醐小学校
90	10/15~12/1	横手市に縁のある方への広報活動	全国	
91	10/20	総合学習・キャベツの除草作業	横手市内	旭小学校
92	10/29-11/7	横手の菊まつり	秋田ふるさと村	
93	10/29	横手支援学校学校祭	横手支援学校	
94	10/29	よこてfunフェスタ	東京都錦糸街	
95	10/30	那珂市産業祭	茨城県那珂市	友好都市
96	11/4-11-6	明海大祭	千葉県浦安市明海大	明海大と横手市との協力事業
97	11/12	ふるさとキャリアサミットin浅舞	横手市内	
98	11/18	福神漬け作り体験に係るいぶりがっこ作り体験	横手市山内地域	
99	11/20	ハガキで応援作戦、市内観光施設の清掃活動とのコラボ	横手市内	横手後援
100	11/24	総合学習・キャベツの収穫	横手市内	旭小学校
101	11/26	B-1グランプリスペシャル決起集会	横手市内	
102	11/26	B-1グランプリスペシャル成功祈願祭	横手市内	
103	12/3~4	2016B-1グランプリスペシャルin東京・臨海副都心	東京都	
104	12/30	B-1グランプリスペシャル地域自慢発送作業	横手市内	